

建築確認が不要な住戸に係る申告書

記入見本

本申告書は、本事業の補助対象である新築住宅を、建築確認が不要な住戸を建築する場合に提出するものです。住宅の設計を行う建築士が、建築確認申請が必要であった場合に建築確認申請書に記入するであろう情報について、記入を行ってください。

なお、「受領印が押印された建築工事届」を提出する場合、本申告書の作成・提出は不要です。

■申告の対象になる住宅の情報

※いずれも必須

建築確認の要否	<input checked="" type="checkbox"/> 建築確認が不要な住戸である ※ 建築確認が必要な住戸に該当する場合、確認済証及び建築確認申請書を提出してください。			
新築住宅の所在地	〒	000	-	XXXX
	都道府県	市区町村	町名番地	建物名
	〇〇県	〇〇市	〇〇町8-8-8	××マンション
住宅の種別	<input type="checkbox"/> 戸建住宅 <input checked="" type="checkbox"/> 共同住宅 (<input checked="" type="checkbox"/> GX志向型住宅を含む) ※ 共同住宅かつGX志向型住宅を含む場合、【別紙】階ごとの床面積 も合わせて提出してください。			

■建築確認申請書に記入するであろう情報

※いずれも必須

都市計画区域等	▼ 確認申請書・第三面【3】に記載する内容を申告してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 都市計画区域内 (<input checked="" type="checkbox"/> 市街化区域 <input type="checkbox"/> 市街化調整区域 <input type="checkbox"/> 区域区分非設定) <input type="checkbox"/> 準都市計画区域内 <input type="checkbox"/> 都市計画区域及び準都市計画区域外			
その他の区域、地域、地区又は街区	▼ 確認申請書・第三面【5】に記載する内容を申告してください。 <input type="checkbox"/> 高度地区に該当する <input checked="" type="checkbox"/> 高度地区に該当しない			
用途地域等 <small>* 複数選択可</small>	▼ 確認申請書・第三面【7、ロ】に記載する内容を申告してください。 <input type="checkbox"/> 第1種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第2種低層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第1種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 第2種中高層住居専用地域 <input type="checkbox"/> 田園住居地域 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
敷地面積の合計	▼ 確認申請書・第三面【7、ホ】に記載する内容を申告してください。 (516.95) m ²			
主要用途	▼ 確認申請書・第三面【8】に記載する内容を申告してください。 (区分 共同住宅)			
工事種別	▼ 確認申請書・第三面【9】に記載する内容を申告してください。 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 ※ いずれかに該当しない場合、補助対象になりません。			
住宅部分の延べ床面積	▼ 確認申請書・第三面【11、ワ】に記載する内容を申告してください。 (3190.37) m ²			
建物の階数	▼ 確認申請書・第三面【13、ロ、申請に係る建築物】に記載する内容を申告してください。 地上 (15) 地下 (0)			

※必要に応じて、図面の追加提出を求める場合があります。

■申告を行う建築士の情報

※いずれも必須

作成日	令和8 年 〇 月 ×× 日			
建築士の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士		登録を受けた 都道府県 ^{*1}	登録番号
				00000000
フリガナ	ケンチク タロウ		連絡先 ^{*2}	XX-XXXX-XXX
氏名	建築 太郎			

*1 一級建築士の場合は、記入の必要はありません。

*2 日中に連絡が取りやすい電話番号を記入してください。

本申告書の内容に虚偽が含まれていた場合、申告を行った建築士は、建築士法等に基づき免許の取消しなどの処分や罰則の適用の対象となる場合があります。ご注意ください。

【別紙】 建築確認が不要な地域に係る申告書（階ごとの床面積）

GX志向型である共同住宅では、求められる省エネ性能は、住宅の部分が過半を占める階数に応じて設定されます。以下に各階における総床面積と住宅用途の床面積について、申告してください。

■ 申告の対象になる住宅の情報

「建築確認が不要な住戸に係る申告書」に記載の建物名を記載してください。

記入見本

※必須

建物名	××マンション
-----	---------

■ 建築確認申請書に記入するであろう情報

※いずれも必須

▼建築確認申請書・第四面【12.床面積、イ.階別、合計】及び第五面【7.用途別床面積、共同住宅】で記載する内容を各階ごとに記載してください。

階数	階別の総床面積		住宅用途（共同住宅等）の床面積		割合
1階	443.23	m ²	94.81	m ²	21%
2階	295	m ²	65	m ²	22%
3階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
4階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
5階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
6階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
7階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
8階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
9階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
10階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
11階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
12階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
13階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
14階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
15階	238.12	m ²	238.12	m ²	100%
16階		m ²		m ²	
17階		m ²		m ²	
18階		m ²		m ²	
19階		m ²		m ²	
20階		m ²		m ²	
21階		m ²		m ²	
22階		m ²		m ²	
23階		m ²		m ²	
24階		m ²		m ²	
25階		m ²		m ²	
26階		m ²		m ²	
27階		m ²		m ²	
28階		m ²		m ²	
29階		m ²		m ²	
30階		m ²		m ²	

※入力欄が不足する場合は、本紙をコピーして利用してください。